

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

倉敷市玉島



時代

江戸時代



指定年月日

平成12(2000)年
10月18日



所有

倉敷市教育委員会



見学

見学可

くらしきぎゅうゆのきけじゅうたく(さいそうてい)
倉敷市旧柚木家住宅(西爽亭)主屋ほか

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



この建造物について

旧主屋に付属する座敷棟で、木造平屋建・本瓦葺きの建物です。天明年間(1781~1789)に建てられたと伝えられ、備後国神辺(現在の広島県福山市神辺町)出身の儒学者である菅茶山によって「西爽亭」と名付けられました。

西爽亭の中で、建築上特に優れているのが、御成門と座敷棟にある式台玄関です。通りに面する御成門は、本瓦葺きの薬医門形式で、屋根の四隅に凝ったデザインの鬼瓦を乗せています。式台玄関は幅が2間あり、入母屋の屋根で、唐破風様の妻飾がついています。

式台玄関を入ると、「取次の間」「次の間」「上の間」と続きます。「次の間」「上の間」は、天井が比較的高く、ゆったりとした数寄屋風の書院になっています。さらに奥へ進むと湯殿・小便所・大便所・手洗いがあり、江戸時代の上級武士の生活の様子がうかがわれます。

このような建築物群は、庭園の石組みとあわせて、天明期の趣きを漂わせています。